惑星大戦争（1977）

THE WAR IN SPACE

メディア 映画
ジャンル 特撮　ＳＦ　アドベンチャー
製作国　日本
色彩　Color
時間　91分
初公開日 1977/12/17
公開情報 東宝

【解説】

時に西暦１９８８年。人類は謎のＵＦＯ群の襲来により危機に瀕していた。人類の存亡をかけ、南海の秘密基地で建造されていた国連宇宙防衛艦・轟天は発進する。侵略者の正体は自らを銀河帝国と名乗る、太陽系から２万２千光年離れたメシエ１３と呼ばれる球状星団・恒星ヨミの第三惑星人だった。彼らは年老いた母星そっくりの地球を征服すべく、指揮官ヘルのもとに金星に侵略の前線基地を築いていた。敵ヘルファイターとの激しい戦闘をくり返し、金星に向かう轟天。しかし、その前に敵の超弩級戦艦・大魔艦が立ちふさがる。金星を舞台に激しいバトルが展開する！　果たして戦いの行方は……。

東映の『宇宙からのメッセージ』同様、『スター・ウォーズ』日本公開前に東宝があわてて作った便乗映画。当初『スター・ウォーズ』の邦題として予定されていたのが『惑星大戦争』だったというのは有名な話である。轟天と大魔艦の２大宇宙戦艦の対決を中心にした東宝久々の特撮大作だが、まじめにＳＦを作ろうと気負った分、ファンタジー活劇と割り切った『宇宙からのメッセージ』に娯楽性という点で負けているものの、『海底軍艦』の轟天号をベースにした轟天は、ドリルメカの魅力を充分満喫させてくれる。最終兵器がドリル内部に隠されているのも魅力。リボルバー式ピストルの回転式弾倉と同じような構造で戦闘機スペースファイターを発射する、宇宙を行く巨大なローマ船・大魔艦など、独特なセンスのメカニズムも一つの見所であろう。また、森田健作・沖雅也・宮内洋・浅野ゆう子などのなんとなく濃いキャスティングが織りなすドラマは心惹かれるものがある。津島利章の軽快な音楽も作品に華を添えていた。

【クレジット】

監督	福田純	
製作	田中友幸	
	田中文雄	
原案	神宮寺八郎	
脚本	中西隆三	
	永原秀一	
撮影	逢沢譲	
美術	薩谷和夫	
編集	池田美千子	
音楽	津島利章	
特技・美術	井上泰幸	
特技・撮影	山本武	
特技監督	中野昭慶	
出演	森田健作	三好孝次（轟天パイロット）
	浅野ゆう子	滝川ジュン（轟天通信員）

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

沖雅也	室井礼介（宇宙戦闘機パイロット）
池部良	滝川正人（轟天艦長）
新克利	三笠忠
宮内洋	冬木和夫（宇宙戦闘機パイロット）
デビッド・ペーレン	ジミー（パイロット）
兼松隆	日下鉄夫
大滝秀治	松沢博士
平田昭彦	大石（国防軍司令）
ウィリアム・ロス	シュミット博士
森田川利一	石山
睦五郎	ヘル
橋本功	研究員
遠藤剛	研究員
中山昭二	国防軍幕僚
山本亘	轟天操縦士
直木悠	轟天副操縦士
竹村洋介	轟天通信士
末宮慎一	轟天通信士
川端真二	轟天管制員
吉田耕一	轟天管制員
早田文次	轟天管制員
江藤純一	轟天パイロット
村嶋修	轟天パイロット
大谷進	轟天パイロット
瀬戸山功	レーダー係
菊地大	湊吾郎

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.